

# 競技注意事項

## 1. 規則

競技は2021年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、申し合わせ事項による。  
なお、2021年度日本陸上競技連盟競技規則TR16.5の適用はしない。

## 2. 練習

- (1) 練習については、基本的には陸上競技場外とする。一般利用者に迷惑のかからないように注意すること。また、競技の進行上バックストレートが空いている場合ウォーミングアップ場として許可する場合もある。安全面に十分注意して行うこと。
- (2) 会場への投擲物の持ち込みは禁止とし、練習は現地集合後に本競技場に入場してから行う。
- (3) フィールド競技の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内で行う。
- (4) 器具を使用後は、手洗いをする。

## 3. 競技場とスパイクの使用

- (1) 競技場は全天候型である。
- (2) 使用できるスパイクのピンの長さは、走高跳12mm以下、その他は9mm以下とし、その数は11本以内とする。先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するものでなければならない。スクリーピンは禁止とする。
- (3) シューズ（スパイク・ランニングシューズ含む）の靴底（ソール）全体の厚さは以下の通り。

走高跳	: 20mm以内（かかと含む）
走幅跳	: 20mm以内（ただし前部が踵部より厚くなってはならない）
砲丸投	: 20mm以内
トラック種目	: 800m未満の種目は20mm以内、800m以上の種目は25mm以内

## 4. 招集

- (1) 選手は競技開始の60分前までにJAAF健康管理チェックシート兼大会出場承諾書をTICへ提出すること。（押印欄に押印のないものは受け付けない。未提出者は競技に参加することはできない。）
- (2) 選手受付（招集）をしていない者は棄権とみなし出場を許さない。
- (3) 選手（長距離）は、TICにてシューズの厚底の厚さのチェックを受けなければならない。
- (4) 集合完了時刻（集合完了時刻については、「競技日程」を確認すること）までに下記の場所に集合すること。また、荷物は各自で管理すること。

◇100m・100mH・110mH・4×100mR（4走）	100mスタート付近
◇200m・3000m・4×100mR（3走）	200mスタート付近
◇1500m・4×100mR（2走）	1500mスタート付近
◇400m・800m・4×100mR（1走）	フィニッシュ付近
◇走高跳	走高跳ピット
◇棒高跳	棒高跳ピット
◇走幅跳	走幅跳ピット
◇砲丸投	砲丸投ピット
- (5) トラック種目の競技者は、出発係から腰ナンバーカードを受け取り、右尻部につけること（リレー競技は第4走者のみ）。競技終了後、腰ナンバーカードを外し、ゴール付近のかごに入れること。

## 5. 入退場

- (1) 入場についてはマーシャルの指示・誘導に従う。
- (2) トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係に返却し、100mゴール側ゲート付近の臨時手洗い場で手洗いをし、スタート付近に戻り荷物を持って待機場所へ戻る。
- (3) フィールド競技は、競技終了後に荷物を持って100mスタート付近出入口又は100mゴール側付近出入口の臨時手洗い場で手洗いをして待機場所へ戻る。

## 6. アスリートビブス

- (1) アスリートビブスは千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定（2021年度）のものを使用する。
- (2) アスリートビブスは胸（腹ではない）と背にしわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。但し、跳躍種目は1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでよい。

## 7. 走路順

トラック競技の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示すものとする。

## 8. 棒高跳支柱移動申告について

各競技者は、競技開始15分前までに当該審判に自分の希望する支柱の位置を申告すること。もしも競技者がその位置を変更したいときは直ちに当該審判員に申告すること。

## 9. リレー競技について（リレーオーダー用紙はT I Cに準備）

- (1) リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙に必要事項を記入し、集合完了時刻の60分前までにT I Cに提出のこと。
- (2) リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
- (3) リレーのマーカの使用は1カ所とする。〔T R 2 4. 4〕

## 10. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子走高跳	1m40 1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以降3cmずつ
女子走高跳	1m20 1m40	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	以降3cmずつ
男子棒高跳	2m60 3m00	2m60	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	以降10cmずつ
女子棒高跳	2m00 2m40	2m00	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	2m70	

## 11. 計時について

競走競技はすべてのトラック種目のレースにおいて写真判定を採用する。

## 12. 不正スタートについて

不正スタートした競技者はすべて失格とする。2021年度日本陸上競技連盟競技規則第T R 1 6. 5の適用はしない。

## 13. フィールド競技について

- (1) 走幅跳、砲丸投は3回の試技とする。
- (2) 棒高跳、砲丸投について、棒高跳、砲丸投で使用使用する滑り止めは各自で準備をし、滑り止めを他人と共有はしない。

## 14. 用 器 具

- (1) 棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳のポールは本部の公式計測員（技術総務）または、跳躍審判員の検査を受けてから使用する。

## 15. 抗 議

発表された結果に対する抗議は、正式発表後（15分以内）に各顧問がT I Cを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に不満の場合は預託金10,000円を添えて、担当総務員（ジュリー）に文書で申し出る。

## 16. 表 彰

各競技終了後の表彰は行わない。

## 17. そ の 他

- (1) 記録は、競技場正面玄関入口付近に掲示する。
- (2) 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難に注意する。
- (3) ゴミについては必ず持ち帰ること。競技場、駅、バス停などに絶対に捨てないこと。
- (4) 選手控え場所については競技場内芝生スタンド、陸上競技場周辺木陰を使用すること。
- (5) プログラムの記載事項の訂正については、競技開始1時間前までに、申込責任者がT I Cへ届け出ること。
- (6) 競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。また、体調の悪くなった選手は医務員の指示に従うこと。
- (7) 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う注意事項
  - ・競技者は、競技のウォーミングアップに合わせて来場し、競技終了後速やかに帰宅すること。
  - ・競技者は、指定された場所で待機する。その際、競技者同士のソーシャルディスタンスを考慮して設置すること。
  - ・招集においては密になりやすいため、マスクを着用し、競技者同士のソーシャルディスタンスを考慮して集合すること。
  - ・運動時を除いて（競技待機中を含む）マスクを着用すること。
  - ・競技終了後は手洗いまたは指先消毒を行う。
- (8) 雨天時に備えて、各自で雨具や雨除けのビニール袋などを準備しておくこと。